

## 館長だより 第9号(令和7年8月5日)

### 企画展を開催中です

7月12日から夏の企画展「高野山麓山里の仕事 ～高野山周辺地域の暮らし～」を開催しています（～9月7日）。今回の展示では、山上で展開された高野山の活動と生活を支える役割を果たした周辺山麓の村落に注目し、そこで展開された凍豆腐づくり、カヤ油しぼり、位牌づくりなどの産業や、講を中心に結ばれた習俗や行事、信仰と関わる民俗芸能などを紹介しています。裾野の世界から高野山を眺めると、どんな世界が見えてくるでしょうか。その辺の面白さを味わっていただきたいと思います。



### HANI-1 グランプリ展示を開催中です

資料館の入口ロビーで、今年度のHANI-1グランプリの参加作品を展示しています。エントリー数は小学生以下84点、中高生13点、一般64点、ヘビー級11点で、点数は若干少なくなりましたが、力作がそろっています。8月11日（月祝）までが投票期間。残すところ1週間になりましたが、ご覧のうえ、「推し」の作品に1票をお願いします。



### ジュニア学芸員養成講座を開催しました

博物館の学芸員の仕事を知らせるとともに、その一部を体験してもらう企画「ジュニア学芸員養成講座」を7月25日（金）に開催しました。午前中には、企画展の展示を見ながら、展示に至るまでの学芸員の仕事の解説を受けたり、資料館のバックヤ





ードを見学したりしてもらいました。午後は、学芸員の指導の下で、館の収蔵品を用いて資料(「モノ」)の特徴や価値を見つける調べ学習をし、その成果を発表しました。成果の一部は、資料館入口ロビーの壁面に掲示しています。(左は調べ学習の様子)

7月下旬～8月中旬、夏休みにあわせて風土記の丘ではさまざまな企画をおこなっており、毎年多くの子どもたちに参加いただいております。親子で楽しんでいただく「夏休みモノづくり」は、まが玉づくり3日(延べ4回)、ハニワづくり7日(延べ12回)を設定しましたが、いずれも定員に達しました。申し込みに関わなかった、あるいは抽選に外れてしまった皆さんには申し訳ありませんが、設備と指導する職員数の関係から努力して開催しておりますので(例えば、ハニワづくりは昨年度より1日(2回)ふやしています)、ご理解をお願いしたく存じます。

夏休みの中の企画としては、今年度の新しい試みとして、風土記の丘で進めてきた収蔵品の3次元デジタル化の成果を体験してもらう「みて、さわって、VR体験しよう」(8月17日)を実施します(申し込み受付中)。参加する子どもたちがどのような興味を示し、どのように利用しようとするか、私たちもその反応を受け止め、来訪者にとってより面白いと感じてもらえる資料館の活動を目指す材料にしていきたいと思っています。

新学期が始まる9月にも、「見つけてみよう風土記の昆虫」(9月6日)、古代のゲーム「かりうちで遊ぼう」(9月14日)という企画を用意しています。「かりうち」は平城宮跡などで発掘された土器から判明した古代のゲームで、昨年度初めて開催したところ大いに人気を博したので、今年度も継続して開催することにしました。

7月23～25日、県立高校・県立支援学校高等部の4人の生徒さんたちが、風土記の丘で職場体験(インターンシップ)を行いました。体験のなかで、園内の谷村家住宅の障子の張替えや、資料館ピロティにある移築した石室の露出展示施設の清掃などを行ってくれました。生徒さんたちの取り組みに感謝です。



(谷村家住宅の障子が新しくなりました) (ガラス越しの展示も見やすくなりました)